



— 連携型中高一貫教育校 —

小瀬高校 学校だより

小瀬高 SPIRITS & PRIDE

平成30年度 第3号
茨城県立小瀬高等学校
平成30年 5月23日

【デュアルシステム提携協定書調印式】

先月の24日に福祉コースのデュアルシステム提携協定書調印式を行いました。茨城大学教授廣原紀恵先生をはじめ、県教育委員会や常陸大宮市保健福祉部のほか提携先である福祉施設の方々にお越しいただき、福祉コースの生徒も出席を行いました。

廣原先生からは、「地域の役に立ちたいという生徒の気持ちを大切に、昨年度の反省を生かした取り組みに期待しています」とのお話をいただきました。デュアルシステムによって高校生の職業意識が醸成し、社会に適應できる生徒の育成が期待されています。

協定書調印後、福祉コース3年生の鈴木涼太さんが、「学校だけではなく、介護施設で学ばせていただけた環境を整えてくださりとても感謝しています。学校で学んだことを実習先で生かし、実習先で学んだことを地域や施設に生かしていきたいと思います」と決意を表明しました。

福祉コースでのデュアルシステム導入は、小瀬高校が県内で唯一であり、先進的な取り組みとして注目されています。今年は2年目を迎え、実習時期を早めたり、実習時間を柔軟に確保したりと、昨年度の反省を踏まえた新たな取り組みも盛り込まれています。



【常陸大宮大賞受賞】

3年生の鈴木蓮さんが、参議院創設70周年記念論文の高校生の部(1,874通応募)で、県内の高校生では唯一となる優秀賞に選ばれた功績が認められ、先月の25日に平成30年度常陸大宮大賞の表彰式に出席してきました。

鈴木さんは、「私が国会議員になったら実現したいことー私たちが望む未来ー」というテーマで応募し、入賞しました。入賞したことを知った鈴木さんは、「エチオピアの人権侵害の話を書きかけに、自分の身近にあるいじめ問題について書きました。論文を書いたことで具体的にいじめについて考えるようになりました。入賞したことはとても嬉しく、また、今回、常陸大宮市から表彰されたことは大変光栄で、名誉なことだと思います。」と語ってくれました。



【中高連携フォーラム&連携型中高一貫教育研修集会】

8日に、柴原宏一県教育長をお招きして緒川総合センターで「中高連携フォーラム」を開催しました。フォーラムには、連携中学校の教員をはじめ、常陸大宮市、那珂市、城里町の小・中学校のほか、県立学校18校の教員が参加しました。

柴原教育長は、保・幼・小の連携において小学校側が保育園・幼稚園での学びを理解した上で指導に当たっている例を取り上げ、異校種間の連携に裏付けられた円滑な接続が児童・生徒のスムーズな学びにつながるということをお話されました。また、自身の経験談を交えながら教員の魅力について触れ、「生徒の気持ちを裏切ることが無いようにして欲しい」と付け加えられました。

その後、平成30年度の連携型中高一貫教育研究集会を行い、全体会では、高校教育改革推進室長をはじめ、高校教育課や義務教育課、水戸教育事務所、常陸大宮市教育委員会などの関係者間で、平成30年度の連携型中高一貫教育の重点及び実施計画について確認しました。

全体会後は、各小委員会、教科部会や部活動部会に別れ、それぞれに今年度の活動内容や方向性について協議しました。

なお、当日の様子は茨城新聞の動画ニュースでも取り上げられました。

